



KIN-BALL[®] sport NEWSLETTER

ご挨拶

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 会長 高見 彰



新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続く中、一年間キンボールスポーツの普及に協力いただいた会員の皆さまはもとより、協賛企業や行政機関、スポーツ諸団体の皆さまに厚く御礼申し上げます。また、キンボールスポーツの普及と日本連盟の運営を支えていただいた役員や委員会、都道府県連盟の皆さまに深く感謝申し上げます。

3月にはマスク着用のガイドラインが見直され、ようやくスポーツの場面でもマスクなしの練習や大会がしやすい状況になってきましたし、アジアカップなどの国際大会も戻ってきました。思えばこの2年、日本キンボールスポーツ連盟は、大会や講習会の中止、延期など大きな試練の中での運営を余儀なくされましたが、「キンボールスポーツを止めない」のスローガンのもと、都道府県連盟の協力を得ながら一致団結して危機を乗り越えてきました。

一方で日本連盟は現在、登録会員数の激減という危機に見舞われています。コロナ禍において活動の休止などが続いたため、会員としてのメリットが感じられないというのが大きな理由のようです。しかしながら、会費収入減が直接2023年度の事業計画に影響を及ぼしてしまいます。日本連盟でも補助金、助成金など外部資金を集めるよう動いていますが、一番大切なのは皆さまや皆さまの周囲の方々の会員として日本のキンボールスポーツを支えるという強い意思です。社団法人は人のつながりが財産です。コロナ禍から立ち上がる大切な状況にあるからこそ、キンボールスポーツの持つチカラを信じ、都道府県連盟や会員の皆さまと目標を共有し、手を取り合い、協働していくことが必要だと痛感しています。この逆境を乗り越え、その先の明るい未来を皆さんと創造していきたいと考えます。

皆さまと一緒にポストコロナへの新たなスタートを切り、「新たなコミュニティを創造するスポーツ」としての価値を確立し、持続可能な組織を目指していきます。

アジアカップ2023

【日程】2023年11月2日(木)～5日(日)

【場所】韓国

【部門】男子、女子



第1回大会のポスター(日本開催)

3回目のアジアカップが5年ぶりに韓国で開催されます。アジアのトップを決める大会で、これまでの2大会で日本は男女ともに金メダルを獲得しています。来年開催予定のワールドカップの前哨戦として好成績を残すとともに、アウェイでの国際大会の雰囲気を掴む好機です。現在、日本の他、韓国、香港、中国、シンガポール(男子の

み)が参加を表明しています。

3月には日本代表委員会が選出した日本代表候補選手、男子27名、女子20名が発表され、3月下旬に第1回の合宿を東京で行います。今後、合宿や練習会、大会での選考を経て、日本代表選手が決定します。

日本連盟では2023年度の事業の一つとして「継続寄付クラウドファンディング」を行います。ここで日本代表チームの合宿費用支援を募ります。皆さまの支援が日本代表チームを支えます。ご協力の程よろしくお願いいたします。

指導者資格移行の進捗状況

昨年度の会報でご案内したように、2022年4月より指導者資格制度を改定・施行しました。2021年度までの指導者資格であるマスターとグランドマスターはそれぞれB級コーチ、A級コーチに変わりますが、資格を移行するには講習会を受講しなければなりません。

これまでオンラインや対面による移行講習会を約10回開催してきましたが、予想を下回る参加者数でした。コロナ終息が見えてきた今、キンボールスポーツをより一層普及、発展させるためにも指導者の力が必要です。また、チームメンバーへの指導や初心者への競技紹介にも指導者の知識や技能が必要とされます。2024年度のジャパンオープン・チャンピオンズカップからB級コーチ以上の資格保持者がヘッドコーチとしてベンチ入りしなければなりません。マスターやグランドマスター資格をお持ちの方は、すみやかに移行講習会を受講していただきますようお願い申し上げます。



▲指導者資格移行の詳細はこちら